

<別紙1>

第三者評価結果報告書

① 第三者評価機関名

株式会社フィールズ

② 施設・事業所情報

名称：ねむの樹北寺尾保育園	種別：認可保育所	
代表者氏名：山本 臣美	定員（利用人数）： 40名（利用者 44名）	
所在地：〒230-0074 横浜市鶴見区北寺尾6-7-6		
TEL：045-584-1700	ホームページ： https://www.nemunoki-y.or.jp/	
【施設・事業所の概要】		
開設年月日：2010年10月1日		
経営法人・設置主体（法人名等）：社会福祉法人 ねむの樹		
職員数	常勤職員：11名 非常勤職員：12名	
専門職員	（専門職の名称） 名 保育補助：3名	
	園長：1名 栄養士：1名	
	主任：1名 調理員：2名	
	保育士：13名 事務員：2名	
施設・設備の概要	（居室数） （設備等）	
	保育室：3室 園庭：あり	
	トイレ：5ヶ所 デッキテラス	
	調理室：1室	
	事務室：1室	
	地域子育て支援スペース： 1ヶ所	

③ 理念・基本方針

<p>【保育理念】</p> <ul style="list-style-type: none">・ 保育所保育指針に沿って児童の最善の為に保育を進め、第二の家庭となるように愛情をもって児童に接する。・ 子どもが大人になった時、「人として必要な力」＝非認知能力を養い、一人ひとりの個性を尊重しつつ発達に即した保育を進める。・ 保育目標を踏まえ、家庭との連携・コミュニケーションを充分にはかり、質の高い保育を提供するよう努める。 <p>【保育方針】</p> <ol style="list-style-type: none">①乳幼児期に最も必要な感性を、音楽のあふれる環境の中で育む。②子ども発達に合わせ、遊びをし通して想像力や自主性を養う。③それぞれの子どもの個性を大切にしながら思いやりの心を育てる。④養護と教育が一体となって豊かな人間関係を持った子どもを育成する。⑤子どもが健康、安全で情緒の安定した生活ができるように、ご家庭との連携を深め、より良い環境を作る。⑥情操教育の一環として音楽教室、英語教室を実施する。
--

【保育目標】

- ・ じょうぶで元気な子ども
- ・ 色々な経験を通じて五感を豊かにし、想像力をふくらませる子ども
- ・ 優しさ、思いやり、勇気、感動を人と共有できる子ども
- ・ 人の話を聞いて、自分の気持ちを言葉で表現できる子ども

④施設・事業所の特徴的な取組

ねむの樹北寺尾保育園は設立12年目を迎え、入園希望数も多く地域に定着してきていると感じています。

定員40名～45名の小規模園であるため、ゆったり子どもと関わることができます。遊びを通して丈夫な体や思いやりの心を育て、乳幼児の大切な時期をひとりひとりの個性を伸ばしながら保育することを心掛けています。晴れの日には近隣の広場や遠くの公園まで散歩に出かけて、思いきり遊びます。たて割りの活動もあり、自然と小さいクラスの子どもへの優しい気持ちが育まれていきます。

*情操教育の一環として音楽教室（月3回）、英語教室（月2～3回）を行っており、専門講師による独自のプログラムを楽しんでいます。10月からは英語講師が、これまでのイギリス人講師からECCの日本人講師に変わり、新たな体験が始まりました。

*人工芝の園庭には、乳児向きの遊具が2つあり、0歳児でもお座りやハイハイをしながら安全に遊べるような環境となっています。歩ける年齢の子どもたちは、日々近隣の公園や原っぱへ散歩に出かけて、体を使って思い切り遊び丈夫なからだの根っこを育てます。公立の馬場花木園までは坂道を上り下りと歩いて行き、季節の花々や池の鯉を見たり、竹藪を散策したりして、自然を感じながら遊べる環境があります。年度の後半には年長組が、三ツ池公園など距離のある公園へ園外保育に出かけます。

*七五三やお正月には、稲荷神社や神明社にお参りに行き、子どもたちの健やかな成長をお祈りしています。運動会は馬場小学校の校庭をお借りして、広々とした空間で伸び伸びと競技を行うなど、地域社会に保育活動を広げています。

*夏野菜の栽培やクッキングなどの食育に取り組んでいます。各クラスで好きな夏野菜を決めて、5月にプランターでの苗植えをし、子どもたちと育てています。収穫した野菜を調理してその日に食することで、食への興味を持ち、食べ物を大切に思う気持ちを育みます。

*給食は栄養士が献立をたて、手作りの給食を提供しています。給食がどのように出来上がるのかを学べるよう、給食室と子どもたちとの関わりも大切にしています。食の大切さを知るための活動として、定期的にクッキングを行っています。いろいろな食体験を通して、子どもたちの生きる力を育てていきます。

*夏祭りでは、子どもの個性を大切にしながら子どもと一緒に考え、行事を作っていきます。年長さんが夏祭りのお神輿を作って担いだり、去年は縁日のお店屋さんになって盛り上げました。今年度は3年ぶりに保護者をお招きすることが出来、親子での楽しい思い出を作ることが出来ました。

*季節の行事や日本の文化を大切にしています。5月の節句、七夕、お月見、餅つき

と鏡餅づくり、鏡開き、初詣、節分豆まき、ひな祭りなど、行事を体験することで日本の文化を大切に作る心を育て、五感を豊かにして想像力を膨らませていきます。

*0歳から5歳児まで保護者と連絡ノートを通じて、子どもの様子や家庭の様子を伝え合っています。自然と保護者との信頼関係も深まります。

⑤第三者評価の受審状況

評価実施期間	令和4年5月10日（契約日）～ 令和5年1月26日（評価結果確定日）
受審回数（前回の受審時期）	1回（2016年度）

⑥総評

◇特長や今後期待される点

1)子どもの生活と遊びを豊かにする保育を実施しています

天気の良い午前中は園庭遊びのほか、積極的に戸外活動に出かけています。戸外では公園や広場への散歩のほか、地区センターへ出かけてお昼を食べたり、消防車見学をさせてもらったり、他園との年長交流会では路線バスに乗って公園まで出かけるなど、地域のさまざまな資源を活用した取組を行っています。独居老人へ手紙を出す鶴見区の企画にも参加し、送った方から返事をもらったこともあります。また、園では情操教育の一環として専門講師による英語教室と音楽教室が定期的に行われ、子どもが楽しみながら、保育目標の一つである「いろいろな経験を通じて五感を豊かにし、想像力を膨らませる子ども」の実現に取り組んでいます。

2)保護者との密な情報交換が行われています

保護者とは日ごろからコミュニケーションを十分に図り、信頼関係を築いています。クラス担当以外の職員とも保護者とコミュニケーションが取れるよう、担当クラス以外の子どものことも情報共有しています。また、年齢関係なく全園児に手書きの連絡帳を利用し、日々の様子や活動内容、家庭での姿などを保護者と伝え合い情報交換しています。第三者評価の利用者調査では「送迎時や連絡帳などを通じ、園や家庭でのお子さんの様子について情報交換されていますか」の設問に全回答者が「はい」と応えています。日頃の園の丁寧な対応が窺えます。

3)職員がチームで保育に取り組んでいます

園長は園としての将来や経営資源の有効活用などを常に考え、リーダーシップを発揮しています。主任とは日々報告・連絡・相談を繰り返し、保育の現状について日誌、月間指導計画の振り返りを通して把握しているほか、積極的に現場の応援に入っています。職員配置の厳しい状況が続いていますが、子ども一人ひとりを大切に、温かいアットホームな保育を心がけており、子どもを受容する言葉かけについては9月の園内研修でも取り上げ、話し合うことでさらに意識を持てるようにしています。職員は子どものペースに合わせた声掛けをし、十分な対応ができるよう、職員間で協力し合い、園長を中心にチームで取り組んでいます。

4)災害でも保育を継続していくための検討が期待されます

災害に備え、年間計画に基づいて地震・火災・水害等幅広く災害を想定した防災訓練を実施したり、備蓄したりしています。それに加え、災害後に保育を継続していくために必要な具体的な対策について、検討を重ねることが望めます。

5)計画的に人材確保を行うことが期待されます

常勤職員が退職した場合、速やかに必要な人材を確保していくことが難しい現状にあります。現在行っている保育サービスの質を落とさないために、今後も法人と連携を図りながら、計画的な人材の確保を進めることが期待されます。

⑦第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

ねむの樹北寺尾保育園は開園13年目となり、地域にもご理解いただき定着して参りました。

職員は「第二の家庭となるように愛情をもって児童に接すること」「子どもが大人になった時、人として必要な力＝非認知能力を養い、一人ひとりと丁寧に関わることで個性を尊重する保育」を日々心掛けて、一丸となって保育と保護者支援に全力で努めております。

この度、第三者評価を受けるにあたり、保育士、各職員全体で保育、運営について振り返りを行い、自分たちの保育の良い点、課題や改善点を話し合うことで、更なる課題が見えて来ました。株式会社フィールズさんには、少しずつ試行錯誤を積み重ねて改善してきた環境設定についてや、子どもへの丁寧な関わり、保育の工夫についてなど内容評価では良い評価をいただきましたことは、大きな励みと自信に繋がりました。

また、災害計画や人材確保など、今後の課題へのご指摘は真摯に受け止め、細かくご指導いただきました事を今後の保育運営に活かして保育の質を高める取り組みをして参ります。

また、お忙しい中アンケートにご協力いただきました保護者の皆様にも大変感謝しております。

お寄せ頂きましたご意見ご要望などには深く耳を傾け、今後の保育運営に繋げていきたいと思っております。これからも「子どもと保護者様にとっての第二の家庭」となる保育園であるよう努めて参ります。ありがとうございました。

⑧第三者評価結果

別紙2のとおり